

計画策定にあたって

○計画対象

各路線について、北海道交通政策総合指針に沿った交通ネットワークの位置づけに整理の上、広域計画に必要な「幹線交通」、「広域交通」を中心に検討
※生活圏交通は、各市町村のまちづくりと一体的な検討が必要

オホーツク地域における公共交通ネットワーク（イメージ）

- ・ 幹線交通
北見市、網走市と札幌市、旭川市、釧路市を結ぶネットワーク
→JR 石北線、JR 釧網線
- ・ 広域交通
北見市、網走市、紋別市、遠軽町と周辺市町村を結ぶネットワーク
→バス路線（地域間幹線系統（市内のみを除く）、広域生活交通路線）
- ・ 生活圏交通
上記以外の市町村内のネットワーク
→バス路線（地域間幹線系統（市内のみ）、フィーダー系統、市町村単独補助）、乗合タクシー等

北海道交通政策総合指針（平成30年3月策定）

北海道型 公共交通 ネットワーク (3つの階層)	幹線 交通	中核都市間等を結ぶ 本道の骨格となるネットワーク
	広域 交通	中核都市や地域中心都市と 周辺市町村を結ぶネットワーク
	生活圏 交通	単一市町村・周辺エリアでの 日常生活に密着した交通ネットワーク

北海道総合計画（令和3年10月改定）

連携地域	中核都市を拠点に、第三次保健医療福祉圏における保健医療福祉サービスをはじめ、経済、教育など高度な都市機能サービスの提供などの役割を有する広域的なエリア
中核都市	人口機能が一定以上で、行政をはじめ経済、医療、教育、文化などの面で高度な都市機能を有する都市
中核都市群	中核都市と相互に結びつきが強く、一体的に都市機能を発揮する都市
地域中心都市	エリアの中で都市サービスや日常生活ニーズなどの面において、中核都市の機能を補完する市や町

オホーツク連携地域

中核都市(群) 北見市 (網走市)
地域中心都市 紋別市 遠軽町

論点メモ

○公共交通に関する地域特有の課題とは

<例>

- ・人口減少、少子化、高齢化
- ・コロナ禍による経済の縮小
 - ・運転手等の交通事業の担い手不足
 - ・高校生による広域の通学
 - ・高齢者等の免許返納の増加
 - ・交通事業者の経営環境の悪化
 - ・行政経費の増加

○課題解決に向けてどのような取組が考えられるのか